

金属プレス加工



●ヘラ絞り加工と精密板金加工

西垣金属工業株式会社

▶TEL: 075-921-6508 FAX: 075-933-1305

▶URL: <http://www.nishigaki-248.com/>

ここが
スゴイ!

絞り誤差 0.2 mm 業界トップクラスの精度を誇る西金式ヘラ絞り加工

創業以来約1世紀をかけて、独自の技術へと昇華させた「西金式ヘラ絞り」を確立した。ヘラ絞りは、平面状・円筒状の金属板を回転させながらヘラと呼ばれる棒を押し当てて少しずつ変形させる塑性加工の手法。体全体の感覚で金属と会話しながら絞っていく卓越した職人の手技が要求される。「西金式」は、誤差0.2mmの業界トップクラスの精度と仕上げの美しさで高く評価されている。



ヘラ絞り技術と精密板金加工のマッチングから生まれる産業用部品



ヘラ絞り独特の金属模様が美しい
インテリア用品も販売

事業概要と躍進の契機

職人技と最新技術の導入により事業展開を図る

ステンレスを多用する食品分野のビジネスが拡大したことにより、ステンレスを切断するレーザー機器を導入。以後、「ヘラ絞り」の伝統技法に加え、最新技術も積極的に取り入れた産業用部品メーカーとして事業展開を図っている。

会社の強み・主力商品など

伝統技術のヘラ絞り加工と高度な溶接技術による精密板金加工

プレス加工では難しい微妙な湾曲や複雑な形状に成型できる伝統技術のヘラ絞り加工と、近年、得意分野へと成長したレーザーを利用した超薄板のアルミ、ステンレス等の気密、水密溶接等の高度な溶接技術による精密板金加工を駆使した製品分野にも進出。半導体・食品関連機器、分析計測機器のほか、エックス線を使う医療機器や航空機部品、船舶のボイラーといった複雑な形状の精密製品を作り出している。

一方、「ヘラ絞り」職人は年々減少の一途をたどっており、高度な絞り技術を未来へ伝承する役割も担う。

今後の事業展開

絞り加工の美しさを活かした“こだわり”の暮らしに身近な商品開発に取り組む

絞り加工独特のスクラッチ状の金属模様を活かし、純銅のピアグラスやぐい呑みといった食器、時計や花瓶、ベンチにいたるインテリア用品、工芸品など暮らしに身近な商品を開発し、インターネット・ショップで販路拡大を目指す。独自ブランド力や仕事への“こだわり”を持つ企業イメージを消費者へアピールしていく。

●企業プロフィール

〒601-8203
京都市南区久世築山町377-6 久世工業団地内
代表取締役社長 西垣 潤
創業:1924年(大正13年) 設立:1948年(昭和23年)
従業員:28名
資本金:1,000万円

企業メッセージ

計算式では不可能とされる絞り加工独特の金属ならではの美しいスクラッチ状の模様は、伝統的な職人技によって生まれます。今後も匠の技術と最新機器により、多種多様な形状と高品質を追求しつつ、後継者の育成に力を入れていきます。

代表取締役社長 西垣 潤



■用語解説

塑性加工: 材料に大きな力を加えて変形させることによって、目的とする形状に加工することである。一般に他の加工方法より加工時間が短く、材料のロスが少ないため、工業製品の生産等に広く用いられる。